

東区まちづくりプラン 2024年度（令和6年度） 実績一覧

1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり

評価欄の凡例	◎ : 進捗率100%以上
	○ : 進捗率50%以上 100%未満
	△ : 進捗率50%未満

項目	課題と対応(必要性)	新規	継続	具体的な取組	指 標					実施時期	評価	取組内容	検証シートページ
					2023年度実績	2024年度(令和6年度)			2025年度				
					目標値	実績	進捗率						
(1)土砂災害等に対する備え	平成30年7月豪雨災害の教訓を踏まえ、「自分の命は自分で守る」という住民の防災意識を向上させ、防災まちづくりの更なる充実を図るため、防災マップの作成支援や防災訓練を行う。		○	(ア)防災マップを作り、災害に備えよう！	防災マップを作成した町内会数					通年	◎	市HPに防災マップを掲載できるよう、土砂災害警戒区域等のハザード情報等への更新について各地区への働き掛けを行った。更新の取組に着手した町内会に対しては、新しいハザード情報を掲載した基図の提供を行い、防災マップの更新の支援を行った。	1
				196/196町内会	更新	更新	100%	—	—				
			○	(イ)「自助・共助・公助」のバランスが取れた防災訓練を実施しよう！	防災訓練を実施した地区数					通年	◎	学区自主防災会と連携して、各地区で防災訓練を実施した。12月15日には、東区防災訓練・防災フェアを尾長地区において実施した。	2
				3地区/年	4地区/年	4地区/年	100%	4地区/年	4地区/年				
(2)避難行動要支援者への支援	要支援者名簿の提供先が多岐にわたるため、地域団体ごとの役割分担を明確にし、相互に連携して取り組めるよう支援を行う。		○	要支援者を地域で支えよう！	対象者のうち、危険区域に居住し、かつ、家族等による支援を受けられない方について、個別避難計画を作成した人数 ※ 2022年度指標修正					通年	◎	地域づくり調整会議を活用し、地域起こし推進課及び地域支えあい課の地区担当職員への防災研修を実施するとともに、各圏域で個別避難計画の作成支援が行えるよう、地区担当職員が避難行動要支援者及び福祉関係者、地域団体等との調整を行い、個別避難計画を作成した。	3
				23人/年	20人以上/年	56人/年	280%	40人以上/年	40人以上/年				
(3)地区社協や町内会などの地域コミュニティの活性化	町内会役員の高齢化や担い手不足、町内会加入率の低下などの課題解決を図り、地域コミュニティの活性化に取り組む。		○	(ア)次世代の担い手を育成するための講演会に参加しよう！	講演会の参加者数					12月	○	11月に東区コミュニティ交流協議会事業計画部会を開催し、東区民大会の内容(案)について意見交換を行った。また、12月7日に開催した東区民大会において、講演会の代替として、地域コミュニティの活性化につながる発表を行った。	4
				447人	500人	460人	92%	—	—				
			○	(イ)「まるごと元気」地域コミュニティ活性化補助金	新規申請件数					通年	◎	1次募集での新規申請は1件のみであったことから、2次募集に向けて、年度当初の団体長への個人情報提供依頼時にチラシ等の案内を同封するなどして制度を周知した。その結果、2次募集、3次募集で新規申請がそれぞれ1件ずつあり、全3件となった。	5
				6件/年	2件以上/年	3件/年	150%	—	—				
(4)犯罪の起こりにくい安全なまちづくり	安全なまちづくりを進めるため、地域における危険な場所等を確認した上で、犯罪の抑止力になる防犯カメラや防犯灯の設置を支援する。		○	(ア)地域の安全は地域で守ろう！	防犯カメラ設置補助制度を活用した設置台数					4月~11月	△	1件2台(尾長)の申請が交付決定され、2台とも設置を完了した。また、来年度の申請に向け、防犯カメラ設置を検討している町内会に、申請方法や設置に係る手順等を説明した。	6
				3台/年	5台以上/年	2台/年	40%	5台以上/年	5台以上/年				
			○	(イ)防犯灯でまちを明るくしよう！	防犯灯の新規設置か所数					通年	○	区役所が新規設置する防犯灯については、要望のあった9か所について、設置工事が完了した。市からの補助金で町内会が新設する防犯灯については、設置申請のあった4か所について、設置が完了した。	7
				22か所/年	20か所/年	13か所/年	65%	20か所/年	20か所/年				
(5)交通事故のない安全なまちづくり	交通事故の件数は年々減少傾向にあるが、「ながらスマホ」などの交通マナーの低下(特に若年層)などが指摘されており、交通安全に対する意識の向上を図る。		○	交通ルールを遵守し、交通マナーを向上させよう！	交通安全街頭キャンペーン・自転車交通マナー教室の開催数					通年	◎	交通安全運動街頭キャンペーンについては、春(4月)、夏(7月)、秋(9月)、冬(12月)に開催した。また、自転車交通マナー教室については、6月に瀬戸内高校で、3月に「広島東安全・安心フェスタ」において、啓発活動やDVD上映を行った	8

東区まちづくりプラン 2024年度（令和6年度） 実績一覧

2 みんなで支え合うまちづくり

項目	課題と対応(必要性)	新規	継続	具体的な取組	指 標					実施時期	評価	取組内容	検証シートページ	
					2023年度実績	2024年度（令和6年度）		2025年度	2030年度					
					目標値	実績	進捗率							
(1) 認知症の人やその疑いがある人の増加に伴う対応	認知症の人やその疑いがある人の増加が見込まれるため、認知症の人とその家族を地域で支える仕組みを作る。		○	(ア) 認知症サポーターになろう！	認知症サポーター養成講座の実施校数					通年	○	概ねの教育機関で左記講座を実施することができた。未実施3校のうち2校は令和7年度の実施が決まり、1校はすでに認知症に関する勉強会を実施済。	9	
					23校 小学校10/12、 中学校7/7、 高等学校4/5、大学2/2	24校 小学校12/12 中学校7/7 高等学校3/3、大学2/2	21校 小学校11/12 中学校7/7 高等学校1/3、大学2/2	88%	—					—
			○	(イ) 認知症支えあいカフェを広めよう！	認知症支えあいカフェの設置地区数					通年	◎	全13地区に認知症支えあいカフェの設置が完了している。引き続き、毎年1か所ずつ設置か所数の増加を目指す。	10	
				13/13地区	13/13地区	13/13地区	100%	目標数:4地区、3月末実績:5地区	23か所					28か所
(2) 高齢者の健康づくり、介護予防の推進	介護を要する高齢者の増加が見込まれるため、地域団体等と協力して介護予防拠点を増やし、自ら健康づくりに取り組む高齢者を増やす。		○	いきいき百歳体操に取り組もう！	拠点数と参加者数					通年	○	新規拠点が7か所立ち上がった。全圏域でデジタル技術を活用したフレイル予防推進事業を実施した。	11	
				2,348人 (107拠点)	2,652人 (132拠点)	2,423人 (111拠点)	62%	目標数:967人、3月末実績:628人	2560人					2600人
(3) 地域ぐるみの子育て支援	子育て中の親子が利用しやすいよう、地域団体と連携し、子育てオープンスペースの実施回数や実施箇所数を増やすとともに、多世代交流など多様な実施内容を取り入れ、参加者数を増やす。		○	地域子育てオープンスペースの参加者を増やそう！	地域の子育てオープンスペースの参加者数					通年	○	引き続き、地域の子育てオープンスペースや「オンラインおしゃべり広場」等について、乳幼児健診や家庭訪問等で参加を呼び掛ける。	12	
				2,800人 (オンラインおしゃべり広場含む。)	2,820人	2,781	99%	2,840人	2,940人					
(4) 地域共生社会の実現に向けた取組	少子化・高齢化が進み、現在の制度では対応できないケースが増えてくること予測されるため、地域住民や地域の多様な団体が連携し、世代や制度・分野ごとの「縦割り」を超えてつながること、子ども、高齢者、障害者など、全ての人が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる社会を実現する。		○	(ア) 「東区地域支えあいリスト」の掲載件数を増やそう！	地域支えあいリストの掲載件数					9月	◎	9月にリストが完成し、委員や地域団体への配布及びホームページの更新を行った。2024年度は掲載件数が402件となり、昨年より7件増加した。	13	
					395件	395件	402件	107%	—					—
					(イ) 医師会や歯科医師会等の医療介護関係者と地域団体が連携した活動を増やそう！	医療介護関係者と地域団体が連携した地区数					通年	◎	地域の通いの場に、13地区バランスよく医療介護関係者を派遣できるよう調整支援を行った。	14
					13/13地区	13/13地区	13/13地区	100%	—	—				
	(ウ) 地域共生社会実現のため、多世代交流の場を立ち上げよう！	多世代の交流の場の開催地区数					通年	◎	全13地区で多世代交流の場の開催ができています。今後も新たな交流の場の立ち上げにつながる活動を継続する。	15				
	13/13地区	13/13地区	13/13地区	100%	—	—					目標数:8地区、3月末実績:11地区			
	(エ) 要支援者を地域で支えよう！ 【再掲】1-(2)		○	対象者のうち、危険区域に居住し、かつ、家族等による支援を受けられない方について、個別避難計画を作成した人数	※ 2022年度指標修正					通年	◎	地域づくり調整会議を活用し、地域起こし推進課及び地域支えあい課の地区担当職員への防災研修を実施するとともに、各圏域で個別避難計画の作成支援が行えるよう、地区担当職員が避難行動要支援者及び福祉関係者、地域団体等との調整を行い、個別避難計画を作成した。	3	
				23人/年	20人以上/年	56人/年	280%	40人以上/年	40人以上/年					
(5) 地域で取り組む生活習慣病予防	平均寿命と健康寿命の差が大きいため、食生活や運動などの生活習慣を改善するとともに、疾病や、加齢に伴う心身機能の低下（フレイル）の早期発見のため、健診受診者を増やすことにより健康寿命を延ばす。		○	(ア) 元氣じゃ健診を受けよう！	特定健康診査受診率					通年	△	区役所広告モニターやFacebookの活用による啓発、公衛協等関係団体への受診率向上の取組説明と協力依頼を行う他、保育園や医療機関、薬局、歯科医院への啓発ポスター掲示依頼などを行った。	16	
					29.2% (確定値)	55%	16.5% (3月末暫定値)	30%	32%					42%
					(イ) 野菜摂取量を増やすため、地元の野菜を食べよう！	地元野菜を活用したレシピの数					通年	◎	すこやか食生活推進リーダー及び食生活推進サポーターの協力のもと、比治山大学及び広島女学院大学と協働してレシピを開発し、啓発を行った。	17
					2品/年	2品/年	2品/年	100%	12品	22品				
	(ウ) 東区を歩いて、運動習慣を身につけよう！	①「健康ウォーキングのつどい」の60歳未満参加者割合					10月	○	10月に開催した「新牛田公園・牛田総合公園いきいき健康フェスティバル」において、ウォーキングを行った結果、12名の参加者があった。	18				
	6.7%	15%以上	8.3%	55.3%	—	—					②週1回程度ウォーキング活動をする地区数 ※ 2021年度に指標追加			
			○		6/13地区	12/13地区	6/13地区	60%	13/13地区	13/13地区	通年		ウォーキンググループに対して健康教室を開催するなど、自主グループとして継続できるよう支援を行った。	

東区まちづくりプラン 2024年度（令和6年度） 実績一覧

3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり

項目	課題と対(必要性)	新規	継続	具体的な取組	指 標				実施時期	評価	取組内容	検証シートページ			
					2023年度実績	2024年度(令和6年度)							2025年度	2030年度	
						目標値	実績	進捗率							
(1)二葉の里歴史の散歩道などの活用	二葉の里歴史の散歩道の認知度をさらに上げていくために、外国人旅行者や幅広い世代に関心を持ってもらう取組を進める。		○	(ア)「ふたばの日」ガイドツアー参加者を増やそう！	年間参加者数	800人	863人	957人	111%	871人	911人	通年	◎	ふたばの日(延べ参加者327人)、いつでもガイド(延べ参加者208人)、学習支援等(422人)を実施した。	19
				(イ)「夏の夜、祈りと平和の夕べ」の来訪者を増やそう！	イベントの来訪者数	1,266人	2,200人	1,726人	78%	—	—	8月	○	各広報ツールにより参加を呼び掛け、イベントを実施し、1,726人が来訪した。	20
(2)都心の近くにある自然とのふれあいの促進	都心の近くにある自然に親しむことのできる場所や、ハイキングコースなどの認知度が十分でないことから、今後も広く住民や観光客に周知し、その活用を促す。		○	(ア)自然観察の楽しさを広めよう！	年間参加者数	67人	240人	76人	32%	250人	300人	通年	△	4月～6月の自然観察会については、例年どおり実施した。また、11月に実施した「牛田山ぐるっとハイキング」で、25人の参加があった。	21
				(イ)都心に近い「牛田山」の魅力を伝えよう！	牛田山ハイキング参加者数	157人	196人	135人	69%	250人	300人	11月	○	各広報ツールによりイベントの周知を図り、グループ登山イベントでは71人、いつでも登山ウィークでは64人の参加があった。	22
				(ウ)地域主催のハイキングイベントを増やそう！	ハイキングイベントの実施件数 ※ 2023年度指標修正	3件/年	3件/年	3件/年	100%	—	—	通年	◎	3つの山を対象に「いつでも登山イベント」を実施した。(3月1日～3月28日 参加者8人)	23
(3)地域資源を生かした住民主体の活動の推進	東区の魅力や活力をさらに高めていくために、地域資源を生かしたまちづくりを進める団体等に積極的に制度の情報提供を行い、活動する団体を増やす。		○	「魅力と活力向上推進事業補助金」	新規申請件数	1件/年	4件以上/年	2件/年	50%	2件以上/年	2件以上/年	通年	○	3月に審査会を開催し、継続申請は1件、新規申請は2件採択された。	24
(4)大学との地域連携によるまちづくり	地域の大学と包括的な連携のもと、それぞれの持つ人材、知識、情報などの資源を活用し、地域の発展と人材の育成を図る。		○	(ア)健康づくりに取り組む若者を育てよう！	健康展の出展回数	2回/年	2回/年	2回/年	100%	—	—	10月～11月	◎	<広島女学院大学> 学生と協働し、大学祭で朝食・エイズ・飲酒に関する展示及び体験コーナーを設置した。また、骨粗しょう症予防講演会を開催するとともに、学生ボランティアとエイズ啓発街頭キャンペーンを行った。 <比治山大学> 大学祭で健康展を出展し、学生と協働して野菜摂取について啓発した。	25
				(イ)命の大切さや思いやりの心を育もう！	大学生による常設オープンスペースでの、親子で遊べるイベント開催件数	2回/年	1回/年	1回/年	100%	—	—	1月	◎	比治山大学短期大学部と共催で開催する大学生と親子が交流できるイベントについて調整を行い、1月22日に実施。	26
(5)スポーツにふれあう機会の充実	東区の魅力資源であるイズミメイプルレッズの応援や、誰もが気軽に取り組むことができるニュースポーツの体験などを通じて、全ての住民がスポーツにふれあう機会を充実させる。		○	(ア)地元のトップアスリートを応援しよう！	東区応援隊の参加者数	79人	140人	127人	91%	50人	50人	9月～3月	○	イズミメイプルレッズ広島や東区スポーツセンター、学区体育協会等と連携し、2月11日に東区応援隊による試合応援を実施した。	27
				(イ)高齢者や障害者等、全ての区民が気軽にスポーツに参加する機会を広げよう！	ニュースポーツを体験するイベントの年間実施回数	3回	3回	2回	67%	—	—	10月～2月	○	東区スポーツセンターとニュースポーツを体験するイベントとして、ニュースポーツ交流会(12/15)、ひがしくスポーツセンターまつり(2/24)を実施した。	28
(6)都心に近い農業地域の活力向上	「木曜であい市」の来場者数が減少傾向にあるため、「木曜であい市」の認知度を高め、来場者数を増やす。		○	「木曜であい市」でおいしい地元野菜をアピールしよう！	年間来場者数	4,761人	4,200人	5,549人	132%	4,250人	4,500人	通年	◎	計49回開催し、来場者は昨年度と比べ788人増となった。また、「木曜であい市」の開催とともに「年末くじ」、開催900回記念「豚汁のふるまい」のイベントを行ったほか、「エキキターレ秋フェスタ」、東区スポーツセンター「スケート開場祭」等に出品し、木曜であい市や東区産野菜のPRを行った。	29
(7)地域の魅力の継承	子ども達が地域の歴史や自然を学習する機会が少ないため、東区の魅力である地域資源を継続して伝えていく。		○	子どもたちに地域の魅力を伝えよう！	3者が学習支援を実施する学校等の数	7校/年	6校/年	8校/年	133%	7校/年	9校/年	5月～12月	◎	【農家】5月に矢賀うり、11月に矢賀ちしゃの植付指導、12月に交流給食を実施した。 【歴史】10月に5コースのガイドを、6月と11月に七福神コースのガイドを実施した。 【緑ボラ】10月に二葉山でのガイドを実施した。	30

東区まちづくりプラン 2024年度（令和6年度） 実績一覧

4 おもてなしの心あふれるまちづくり

項目	課題と対応(必要性)	新規	継続	具体的な取組	指 標					実施時期	評価	取組内容	検証シートページ		
					2023年度実績	2024年度（令和6年度）			2025年度					2030年度	
						目標値	実績	進捗率							
(1)陸の玄関口であるJR広島駅新幹線口周辺地区（エキキタ）のにぎわいづくり	「エキキターレ」を活用するなど、季節ごとに実施されるイベントの内容の充実を図りながら、「エキキタ」の認知度を高めていく。		○	(ア)「エキキターレ」をエキキタのにぎわい広場として盛り上げよう！	イベント等でのエキキターレの利用日数	31日/年	85日/年	22日/年	26%	100日/年	150日/年	通年	△	おながフェスタや秋フェスタ、カープフェスなど、年間で22日のイベント利用があった。	31
				(イ)「エキキタ・ドリミネーション」を、エキキタのインスタスポットに育てよう！	参加企業・店舗数	28企業・店舗	29企業・店舗	29企業・店舗	100%	30企業・店舗	35企業・店舗	11月～1月	◎	「鉄板焼 あーちゃんの店」、「Cafeteria y Bar Linda」に参加を呼び掛け、新規参加となった。協賛広告を伴うポスター型マップを作成し、23万円の協賛金を確保した（昨年度19万5千円）。	32
				(ウ)「ふたばの日」ガイドツアー参加者を増やそう！ 【再掲】 3-(1)-(ア)	年間参加者数	800人	863人	957人	111%	871人	911人	通年	◎	ふたばの日（延べ参加者327人）、いつでもガイド（延べ参加者208人）、学習支援等（422人）を実施した。	19
				(エ)「夏の夜、祈りと平和の夕べ」の来訪者を増やそう 【再掲】 3-(1)-(イ)	イベントの来訪者数	1,266人	2,200人	1,726人	78%	—	—	8月	○	各広報ツールにより参加を呼び掛け、イベントを実施し、1,726人が来訪した。	20
				(オ)「魅力と活力向上推進事業補助金」 【再掲】 3-(3)	新規申請件数	1件/年	4件以上/年	2件/年	50%	2件以上/年	2件以上/年	通年	○	3月に審査会を開催し、継続申請は1件、新規申請は2件採択された。	24
(2)産直市などによる交流の場の創出	「木曜であい市」の来場者数が減少傾向にあるため、「木曜であい市」の認知度を高め、来場者数を増やす。		○	「木曜であい市」でおいしい地元野菜をアピールしよう！ 【再掲】 3-(6)	年間来場者数	4,761人	4,200人	5,549人	132%	4,250人	4,500人	通年	◎	計49回開催し、来場者は昨年度と比べ788人増となった。また、「木曜であい市」の開催とともに「年末くじ」、開催900回記念「豚汁のふるまい」のイベントを行ったほか、「エキキターレ秋フェスタ」、東区スポーツセンター「スケート開場祭」等に出店し、木曜であい市や東区産野菜のPRを行った。	29
(3)公共空間（公園等）を活用した花づくり	花づくりを行える公園等の公共用地で、まだ活用されていない場所が見受けられるため、支援制度の広報に力を入れ、活動を充実・強化する。		○	東区を花でいっぱいにしよう！	花づくり活動団体数	49団体	49団体	49団体	100%	50団体	55団体	通年	◎	既存団体から提出された活動報告書をFacebookに投稿し、本事業の紹介を行った。また、2月に開催した花づくり講習会で作成した寄せ植え作品を「出会い・ふれあいフェスティバル（2月15日、16日開催）」で展示し、本事業のPRを行った。	33